

## マッスルカ也氏神奈川県スキー連盟マーケティング 委員会アドバイザー就任



Q.今回なぜマッスルカ也氏に神奈川県スキー連盟マーケティング委員会アドバイザーをオファーしたのでしょうか？

片会長：マッスルさんとの出会いは尾瀬岩鞍スキー場で、ひと目会ったその日からこんなパワフルでよくしゃべる男はいないなと思いました。スキーに関する話を色々としてマッスルさんのスキーに対する思いに私も共感しました。

マッスルさんのスノースポーツへの情熱、そしてマッスルさんが持っている人脈の豊富さに感銘を受けました。そしてマッスルさんと共に歩んでいくことは神奈川県スキー連盟にとって有効であると考えました。

もう一つはマッスルさんがDJを行っている雪上イベントを拝見し、あれだけイベントを盛り上



げ、滑り終わった子供達一人ひとりに声を掛けて子供達が喜んでいる姿を見たときに未来のスノースポーツのあり方というものを感じました。

Q. なぜ神奈川県スキー連盟のオファーを受けたのか理由を聞かせてください

マッスル力也氏：会長との出会いや神奈川県スキー連盟の方々と現場でご一緒した時に子供たちが参加するイベントやスノースポーツをなんとかしようとしている前向きな気持ちを感じたので協力したいなと思いました。

23年間全日本のDJをしておりますがイグザミナー、大会委員長やTDと運営をしておりますが、外部の話は一切聞かず、頑張る選手やそれを応援する方々が飽きないようにすることがスポーツの祭典であり、イベントであると僕は認識しています

今回神奈川県とキッズ、ジュニアをベースに動いていますけど、子供達が喜ぶことを誰かがしなければいけないと思っておりま



す。また来年家族でこの大会出たいとか、スキーの板買いたい、買ってもらうために頑張るとか、そういう親と子供の家族コミュニケーションが取れる場を神奈川県スキー連盟の大会やイベントを通して神奈川県スキー連盟と共に提供できればと考えています。

ではなく、信用できる神奈川県スキー連盟の交流から様々な情報を手にできればと思います。未来を見据えた神奈川県スキー連盟からオファーを頂いた際には、即決で協力を決めました。神奈川県スキー連盟の方々に感謝いたします。



自分で稼いで自分で生活するが僕のゴールなので自分が持っている人脈を紹介し、よくわからないサイトから物を手にするの

自分で稼いで自分で生活するが僕のゴールなので自分が持っている人脈を紹介し、よくわからないサイトから物を手にするの

Q. マッスル氏に期待すること、そして会長の目指すスキー連盟について聞かせてください

片会長：神奈川県スキー連盟は私が専務理事、副会長からずーっとやってきまして、以前良くなかったのは昨年と同じことしかやらない組織になっていました。

つまりそこには進化やイノベーションもなく、毎年同じことを繰り返していました。そこに協賛していただいている方々がたくさんいらっしゃるのですが毎年同じようにしか付き合っていないでいました。

したがって共存共栄関係である協賛してくださる方々との関係に飽きがきてしまっていると心配がありました。そして我が県連の役員たちは毎年同じことをやっていけば自分たちの仕事は終わりだと思っていて私は非常に憂慮していました。



そこでマーケティング委員会を立ち上げ、新しい物を掘り起こしながら協賛してくださる方々に感謝し、新しい関係性が構築できればと考えました。また協賛というネーミングではなくスポンサーという名称に変更しました。当初マーケティング委員会はメン

バーの考え方のベクトルが合わず苦労しましたが、強力なメンバーたちのお陰で東急リバブル株式会社等のスポンサーに繋がりました。それに伴い新しい道が広がっていき、スポンサーの意向を聞きながら新しい共存共栄の関係性が構築出来始めています。



今はコロナ禍ですがこれをさらに進めないと神奈川県スキー連盟の生きる道はないと思っています。そのくらいの強い意志で再度マーケティング委員会を整備して進めたいと思います。

#### Q.神奈川県スキー連盟に期待していること

マッスル力也氏：僕のモットーは家族そして子供たちに継承するという言葉があります。僕は色々とお世話になった人生だったので教わったり、色々



教育を受けたり、感銘を受けた物を子供たちに伝えることが大切と思っています。

あとは義を重んじる心という言葉がありますが、義を重んじるのであれば返さなければいけない。それは義をくれた方々に返すのではなく、それを次の世代に継承していくという気持ちを持った

方々が神奈川県スキー連盟にはいらっしゃるので僕が暴れると言いますか武器がいくつも増えたような気がしています。この武器を全て一気に使うのではなく小出しにしながら、コミュニケーションツールがあるこの場所に参加したいという人々を増やすことが目的ですし、スポンサーにお声がけはしますが、是非協力したいと思ってもらうことがマーケティングだと思っています。

あそこに協力したい、あそこの考える活動に対して協力したいというマーケティング活動としてお金を集めるのも大切ですが、新しい文化を作るだけではなく今の文化を守りながらやっぱり神奈川県スキー連盟は最高だよなって思ってもらうことが僕の目標です

Q.神奈川県スキー連盟の会員へ向けてメッセージを聞かせてください

片会長：会員の皆様は登録費用を払って登録してスキー連盟という組織の中で様々な活動をされています。一方、公益財団法人化としたので会員のみならず神奈川県民に対して幅広くスノースポーツの楽しさを伝えなければなりません。

会員や県民もスノースポーツを通して楽しみ相互理解が深まっていけば会員が増えて組織も大きくなると思います。したがって会員の皆様は是非スノースポーツに少しでも興味のある一般の県民の皆さんと触れ合っていただければと思います。子供たちと交流して、そこにくるお父さん、お母さんとも話をして交流を深めて欲しいと思っています。

スキー大会の開会式でよくお伝えするのですが、山の満天の星空を見てください、嫌なことも、あの子の悪口を言うとかそういうものが少なくな



る、更にはなくなっていくと思います。自然の中で楽しむスノースポーツは子供たちにとっても会員の皆様にとっても良いものだと言うように考えてます

Q. 神奈川県スキー連盟の会員へ向けてメッセージを聞かせてください

マッスル力也氏：お伝えしたいことは今あるスノースポーツをどれだけ楽しむことができるか、楽しむことができる場所を提供するためにソフトを導入しようというのが僕の気持ちです。親御さんが昔、学生時代スキーをされていて結婚してスキーができなくなったけど、子供にスキーを体験させたいんだよねと思ってスキーをさせたら子供がスキーにハマってしまった。子供のスキーの方向性が競技なのか基礎なのかを温泉に入りながら話をする。雪の楽しさを伝えた結果、子供がスノースポーツに目標を持ってくれた。これが回り回って今があると思います。



そして、スノースポーツだけではないコミュニティーを作りたいというのが僕の目標です。その根本にあるのがオリンピック選手が引退した後でも働ける場所、彼、彼女らがいまでも頑張るスキーヤーに何かを残そうとするプログラミング、365日神奈川県スキー連盟にいて良かったなと思うような、スキーシーズン以外の春や夏、秋のイベント、様々なスポーツを通して共通点、ビジョン、スキルアップを感じて楽しんでもらいたい。会員の皆様に冬だけでなくコミュニケーションを取りながら子供達の教育をできたらいいなと思っています。

これからスタートしますがシーズン中に夏どうしようか？など楽しい話ができればと思っています。